SEKI BUSINESS REPORT

第72期 中間報告書

2020年4月1日～
2020年9月30日

セキ株式会社
中・長期経営計画「Next200」

Next200 2017-2025-2035

証券コード：7857

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、日頃より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当社グループの第72期（2021年3月期）中間連結決算におきましては、財務ハイライトに記載の通り前年同四半期に比べ減収減益という大変厳しい結果となりました。当社グループが属する業界においては、新型コロナウィルス感染症の影響拡大により、印刷需要が大きく低迷し、政府による緊急事態宣言の発出後、営業活動が大きく制限され、現在もなお影響が続いております。

当社グループにおきましては、リモートワークの導入、新しい営業方法の実践等、今後のウィズコロナ時代を見据えた変化に対応し、中長期経営計画「Next200」の目標数値を変えることなくさらなる成長を求めて、新しい事業にも挑戦しております。特に、新規事業である水性フレキソ印刷加工事業においては、現在の経済状況下においても比較的堅調な軟包装パッケージの受注拡大に努め、新規顧客開拓も成果につながってきております。新たな事業領域として愛媛県西予市乙亥会館「災害伝承展示室」の空間デザイン事業、Go To Eat 愛媛の愛媛事務局運営受託など各種キャンペーン事務局の受託事業、地方自治体・DMO・DMCからの観光プロモーション事業の受託など、既存の事業と関連性の高い業務を行うことで事業領域の拡大を推進しております。

今期の重要テーマである「付加価値向上」に向けた取り組みついては、既存事業における生産性向上による利益率改善、同時に固定費削減を強く推し進めております。また、本年7月にSDGs宣言を行い、環境経営を主軸とした事業の推進に注力しております。

印刷業界の大きなテーマとなっているDX（デジタルトランスフォーメーション）につきましては、オンライン校正システムの導入による働き方改革の推進、RPA関連商材の販促等、社内・社外問わず、ITを活用した新しい事業革新にも引き続き取り組んで参ります。

株主の皆さまにおかれましては、今後もなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
関　宏孝

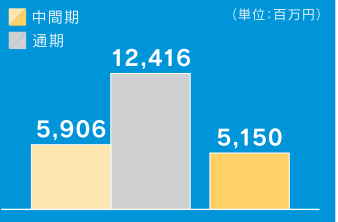
中間配当金
12円

1株当たり四半期純利益
△14円82銭

財務ハイライト（連結決算）

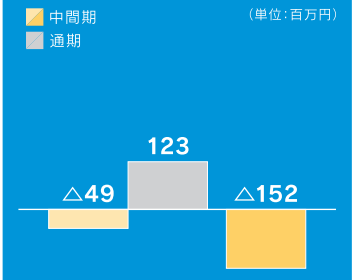
売上高

5,150百万円　前年同四半期比 12.8%↘



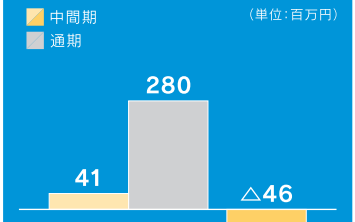
営業利益

△152百万円　前年同四半期 △49百万円



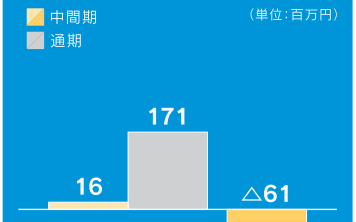
経常利益

△46百万円　前年同四半期 41百万円



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

△61百万円　前年同四半期 16百万円



当社実績のご紹介

Go To Eat キャンペーン事業

国が実施するGoToEatキャンペーンのうち、各県に事務局が置かれる「プレミアム付食事券発行事業」の愛媛事務局を愛媛県商工会連合会・愛媛県商工会議所連合会の負託を受け、農林水産省と契約を結びました。

「愛媛で食べようGoTo Eat キャンペーン」ホームページはこちらから

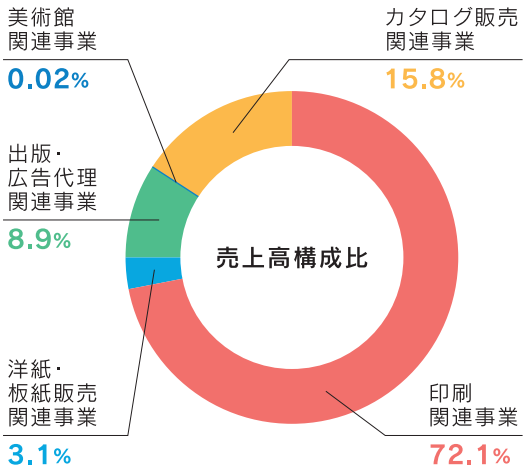


西予市平成30年7月豪雨「災害伝承展示室」

平成30年7月豪雨からの復興のシンボルのひとつである「西予市乙亥会館」。その乙亥会館の一画にある、二度と同じ被害が起こらないように、「事実を知り、学び合い、備えの先にいのちを守る」をテーマに、災害の記録と記憶の発信と深い学びの場の提供を目指した「災害伝承展示室」の空間デザイン事業に携わりました。



セグメント別の概況



印刷関連事業

新型コロナウィルス感染拡大の厳しい状況下、各種イベントの中止・延期や企業の事業活動の停滞などの影響により、減収減益。

▶ 売 上 高　37億1千4百万円（前年同四半期比12.4%減）
▶ 営業損失　7千4百万円（前年同四半期は3千万円の営業損失）

洋紙・板紙販売関連事業

事業活動の停滞による事業者からの印刷受注減少に伴う用紙需要の減少などにより、減収減益。

▶ 売 上 高　1億6千万円（前年同四半期比37.2%減）
▶ 営業損失　2千8百万円（前年同四半期は1千1百万円の営業損失）

出版・広告代理関連事業

メディア広告の大幅な減少や各種イベントが中止になったことなどにより、減収減益。

▶ 売 上 高　4億6千万円（前年同四半期比2.8%減）
▶ 営業損失　6千3百万円（前年同四半期は3千6百万円の営業損失）

美術館関連事業

新型コロナウィルス感染拡大の影響により、セキ美術館がある道後温泉を訪れる観光客の移動が制限されたことなどにより、減収減益。

▶ 売 上 高　88万円（前年同四半期比47.6%減）
▶ 営業損失　1千2百万円（前年同四半期は1千2百万円の営業損失）

カタログ販売関連事業

巣ごもり消費の拡大による個人向け販売業績の伸張を期待していたものの、前年度末の衛生用品特需の反動や前年の消費税増税前の駆け込み需要などが影響し、減収減益。

▶ 売 上 高　8億1千4百万円（前年同四半期比12.8%減）
▶ 営業利益　2千5百万円（前年同四半期比38.3%減）

株式の状況および会社概要

株主および株主の状況

発行可能株式総数……16,000,000株
発行済株式の総数……4,508,000株
株主数……485名

大株主の状況

株　主　名	持株数（株）	持株比率（%）
関　　啓　三	505,000	12.12
有限会社宏栄興産	480,200	11.53
関　　宏　成	472,000	11.33
セキ従業員持株会	222,900	5.35
株式会社伊予銀行	208,000	4.99
公益財団法人関奉仕財団	168,600	4.05
株式会社愛媛銀行	164,500	3.95
セキ取引先持株会	145,800	3.50
関　　一	103,500	2.48
藤　田　多　嘉　子	102,500	2.46

（注）当社は、自己株式を342,557株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

会社概要

商　　号　セキ株式会社
松山本社　愛媛県松山市湊町七丁目7番地1
東京本社　東京都渋谷区代々木三丁目2番8号
設　　立　1949年3月31日
資 本 金　1,201,700千円

役員一覧

代表取締役会長	関　啓三	社外取締役	宮部高至
代表取締役社長	関　宏孝	常勤監査役	松長茂
常務取締役	西上慎司	社外監査役	成松勲
常務取締役	関　宏晃	社外監査役	十河嘉彦
取締役相談役	関　宏成	執行役員	大峰博之
取締役	藤原武彦	執行役員	板東良数
取締役	松友孝之	執行役員	吉川浩司
取締役	岡田克志		

株主ご優待制度

■「セキ美術館」ご招待券
対　　象：3月末日及び9月末日の株主様
贈呈時期：3月末日現在の株主様　6月下旬
　　：9月末日現在の株主様　11月下旬

持株数	ご招待券贈呈枚数
100株以上	2枚
3,000株以上	4枚

■ 自社オリジナルティッシュペーパー 1ケース（20箱）
対　　象：3月末日現在、1,000株以上保有の株主様
贈呈時期：7月上旬

■ 自社カレンダー 1部
対　　象：9月末日現在、100株以上保有の株主様
贈呈時期：11月下旬


「セキ美術館」ご招待券


自社オリジナルティッシュペーパー



自社カレンダー

株主メモ

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所
大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先）0120-782-031（平日 9:00～17:00）
（インターネットホームページURL）https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

新しい価値の創造によるSDGsの推進

Next200 2017-2025-2035 × SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社は、2020年7月にSDGs宣言し、SDGsが掲げる17の目標と「Next200」に掲げている当社の重点経営課題への取り組みを改めて整理し、事業を通じてSDGsの達成に向けて、真摯に取り組んでいくことで持続可能な社会の実現に貢献します。